

自然学習講座

テーマ：夏の昆虫たちを観察しよう

日時：令和6年7月15日(月・祝) 10時から12時まで(雨天決行)

講師：土岐 秀則氏(日本トンボの会会員)

参加費：無料 定員：30人

受付開始：令和6年6月12日(水)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年6月21日(金)まで電話で受付し、応募者より抽選。



▲ナナフシモドキ

トンボやチョウなど身近な昆虫たちの不思議な生態について案内します。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。また、お持ちであれば虫網、虫かごをご持参ください。
 ※ 小学3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

かつしか環境・緑化フェア 6月9日(日)
 会場：テクノプラザかつしか 午前10時から午後3時まで
 子どもから大人まで環境について楽しく学べるイベントです。
 水元かわせみの里は生きもの展示やクイズなどを行います。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間
 専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
 ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 5月20日
 (通算第206号)



水元小合溜の生きもの：196

アリジゴク (ウスバカゲロウ類の幼虫)

アミメカゲロウ目ウスバカゲロウ科
 全長 約1cm
 時期 3~11月頃



砂に潜み、獲物を大きなアゴで捕らえる。その後、獲物に消化液を注入して溶けた組織を吸う、「体外消化」を行う。

体に細かい毛がたくさん生えている。これで砂を体にとり除き、姿を隠す。

砂地に潜む“蟻地獄”

アリジゴクはウスバカゲロウの幼虫の俗称です。サラサラとした砂地にすり鉢状の巣を作り、待ち伏せ式の狩りをする昆虫で、そこに落ちて来たアリなどを大あごで捕まえるため、「蟻地獄」と呼ばれます。

とても我慢強い昆虫

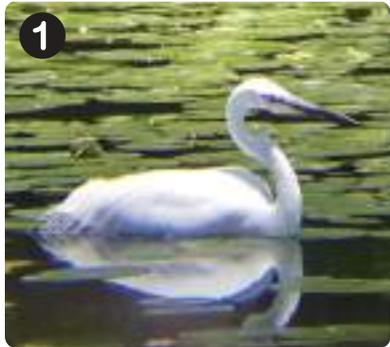
狩りは待ち伏せ式のため、獲物が中々からない時もありますが、アリジゴクは絶食に強く、最長で3ヵ月ほど空腹に耐えられるようです。成虫になるまでの速度は獲物の量に依存し、長いと4年近く土の中で過ごします。



▲土に潜るのがとても上手

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



5/4 **ダイサギ** 小合溜の中へ、体がぎりぎり沈まない程度の水深まで入っていき、魚を狙っていた。



5/3 **ウチワヤンマのヤゴ(幼虫)** 東京都内では生息域が限られている希少なトンボ。水元公園では普通に見られる。



5/1 **アオモンイトトンボ** 春から秋までの間、水上や水辺近くの草地などでよく見られる。腹部が糸のように細長い。



5/9 **ニジュウヤホシテントウ** ナス科やウリ科の植物の葉を食べるテントウムシの一種。全身に小さな毛が生えている。



5/14 **ゴマダラチョウ** 冬を越した幼虫が羽化し、野草園周辺を飛んでいた。成虫は樹液や腐った果実などを吸う。



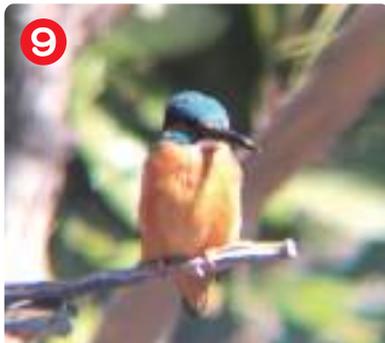
5/4 **クスノキ** 水元公園全域に植樹されている。小さな花には、ハエやアブの仲間などが、花蜜や花粉を求めて訪れる。



5/10 **トチノキ** 円錐形の大きな花序をつける。樹高が高いため花の位置も高く判りづらいが、花には甘い香りがある。



5/10 **ヒルガオの仲間** 風間に花を開く、アサガオに似た花。水元公園の園路脇の草地でよく見られる。



5/6 **カワセミ** 当日に行われた『カワセミ個体数一斉調査』により、水元公園全域で、少なくとも7羽が確認された。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「見えてきたカワセミの生息状況」の話

5月6日に、水元公園全域を対象とした市民参加型調査「カワセミ個体数一斉調査」を実施しました。今回は総勢80名での調査となり、少なくとも7羽のカワセミ(9)が確認されました。

カワセミ個体数一斉調査は、2023年1月、5月、12月にも実施され、今回で4回目。これらの比較で、ようやく水元公園におけるカワセミの個体数変動の傾向が見えてきました。

まず、それぞれの確認個体数の比較から、繁殖期である春は、非繁殖期である冬よりも個体数が減少傾向を示すようです。また繁殖期には、同一個体と思われるカワセミが非繁殖期よりも広い範囲を利用していただけから、カワセミは繁殖期には、育雛のためにより広いなわばりを作る可能性が示唆されました。

確認された地点は、主に水元かわせみの里周辺・水辺のさと周辺・不動池です。繁殖期のカワセミは営巣環境のある場所になわばりを作るため、水元大橋以北では、水元かわせみの里周辺以外はカワセミの繁殖に向かない可能性もあります。

水元公園では年間を通して見られるカワセミですが、その中でも季節によって、様々な変動があることが見えてきました。これらの推察をさらに明確にしていくためにも、今後も引き続き、調査を続けていけたらと思います。(小林)



ボランティア活動報告

第4回 カワセミ個体数一斉調査を実施しました！

5月6日に水元公園全域で、カワセミの個体数一斉調査を実施しました。興和オプトロニクス株式会社様、TAKEO株式会社様にもご協力をいただき、市民の皆様、ボランティア、キッズボランティアも合わせ、総勢80名による調査の結果、少なくとも7羽の個体が確認されました。



当日のガイダンスの様子。
80名ともなるとスゴイ規模です。



公園内の30箇所以上に人員を配置し、90分間一斉にカワセミの飛来を記録しました。



興和オプトロニクス株式会社様から双眼鏡の貸与もあり、全員がくまなく探すことができました。



調査後は、TAKEO株式会社様からタガメサイダーのご提供をいただきました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

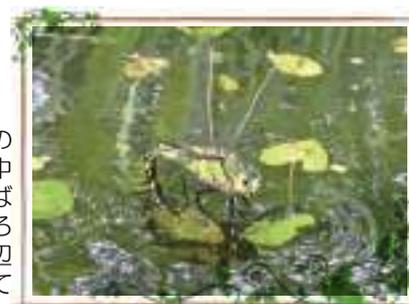
野草園だより 見頃の生きもの5月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

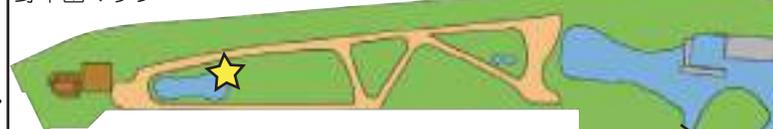
5月の見頃

クロスジギンヤンマ

頭から胸が鮮やかな緑色で腹部が黒く、黄緑色の斑点模様があるクロスジギンヤンマが、野草園の中にあるカエル池の様子を伺っていました。翅を羽ばたかせてホバリングしながら水面にとまるところを探して、水草に産卵していました。カエル池周辺を訪れた際はぜひ、クロスジギンヤンマが産卵しているかどうか観察してみてください。



野草園マップ



見られるポイントはココ！